

# 兵庫県のり漁場環境情報 (東播海域 9 号)

2020年 1月 7日発行

兵庫のり研究所

前回 (12/26) 調査同様、この海域全般に珪藻の発生量は少ない状況でした。今回調査は潮時が満潮～下げ始めということもあり、窒素は陸水等の影響を受けていた一部地点を除き、二見以東の海域で概ね4～5  $\mu\text{g-at/L}$ の値となっています。一方、高砂以西の海域では数種の珪藻が依然として確認され、窒素の低い状況が続いています。

(水温) 漁場内平均13.0℃。平年比1.7℃、昨年比0.3℃ともに高い。(塩分) 平均32.00psu。前回 (32.05) と概ね同値。

(栄養塩、珪藻) 二見以東の海域において珪藻は確認される程度と少なく、窒素も概ね4～5  $\mu\text{g-at/L}$ の値であった。別府地先以西の海域では、キートセロスや筒状で連鎖して肉眼視される珪藻等が依然として発生しており、また同域においてほとんど確認されなくなっていたユーカンピアが海水1mlあたり100細胞前後認められ、再増殖の傾向が見受けられている。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	14.5	13.0	11.3	12.7
窒素	4.9	5.1	4.7	5.8
リン	0.59	0.58	0.49	0.50

(12/26)

(1/4)

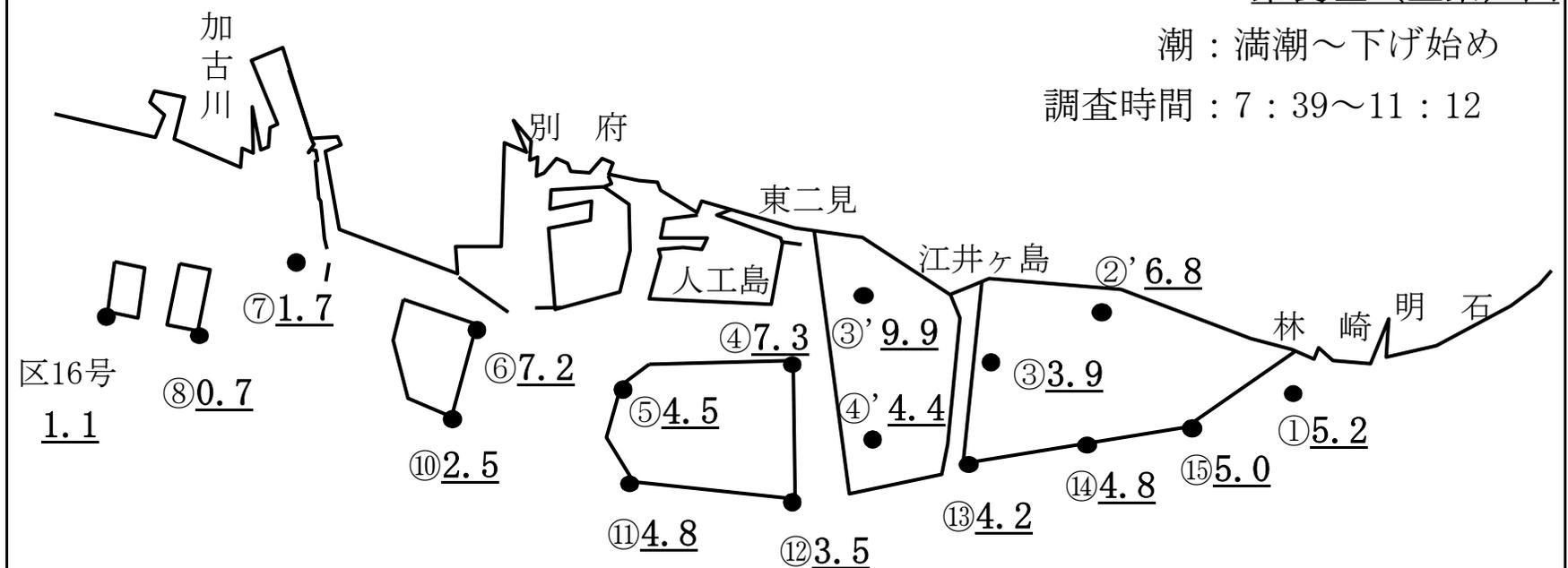
### 西播地先

伊保 地	水温	12.6℃	伊保 沖	水温	12.6℃
	窒素	0.8		窒素	0.5
	リン	0.35		リン	0.36
白浜 地	水温	12.4℃	白浜 沖	水温	12.3℃
	窒素	0.7		窒素	0.5
	リン	0.35		リン	0.34

2020年 1月 7日調査

### 栄養塩 (窒素) 図

潮：満潮～下げ始め  
調査時間：7:39～11:12



### 水温図

